第98回新人漫画賞入選受賞作

テニスの必勝法を知っている

佳作 KASAKU

入選受賞作だけど、題名は佳作。特別読み切り50P!!

相手より

1球だけ多く拾うことだ

# 特別読み切り『佳作』

★この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・出来事などとは、一切関係ありません。

おっはよー
お…おはよう
彼女は「葉月みのり」いわゆる「キラキラした世界」の住人だ

リア充のくせにいつも僕に話しかけてくるなんて変人だよな…
もー!! そんなに見つめないでよー
みっ
見つめてなんかないよ!
ってか昴くんキレイな目してるよねー見つめられて気付いたけど
だから見つめてないって!!
視力とか反射神経良さそー!!
聞いてる!?
あ!
そーだ! 反射神経といえば

テニス!! してみない?
え

え

ちょ
ちょっと！何で急に！
先生がキビしくってさー今ウチ部員減っちゃってるのー
ええ!? いや でも…

それに
ついて来てくれたってことは
ニヤッ

ホントは興味あったんじゃないの？
こーゆーコトに
ドキッ

そ そんなこと…まったく なんで僕がこんな目に…
お手柔らかにねー

よろしくー村岡くーん!!
おーす
うっ顔怖っ！
いざ対面すると緊張が…やっぱ こんなこと…

ガンバレー
ビクッ

昴ファイトーっ!!
アナタのせいでこんなことになってんのに平然と応援って…やっぱ変人だ

…でも
誰かに応援されるのって…初めてだ
スッ

えっ
ドッ
ゴッ
ツ

ヘロ…
えっ

すっ すごい!!
あんなサーブ初心者じゃ打てないよ!
そ そうなのか…?

けっこう軽い気持ちでやったんだけどな……

こんなモンでいいなら
…いくらでも

やって… やるさっ!!

おい！
なんだ
あのサーブ!?
スゲー
あんな速いの
見たこと
ねーぞ！
あいつ
誰だ？
ザワ
ザワ
――こうして

17歳の春
一つの才能が
開花した

そして

コロ
コロ

# 怪作
KASAKU

←この地味な男が主人公！名前は村岡!!

マガジンの怪童
魚豊

マジかコレ…
グッ

ある時
俺は気付いてしまった

この世界は〝生まれ持った〟一部の「主役」と

それを取り巻く多くの「脇役」で構成されていると

そして
自分は脇役なのだと

主役に近づきたい一心で
色々試したが
何をしたって
蚊帳の外だった

だが
ギュッ
テニスは
違った

ボールを拾う瞬間
この世界の主役に
なれた気がした

それは一瞬だった
だが確かに感じたのだ
「視線」「興奮」
そして　俺自身の
「鼓動」
ドッ
ドッ
ドッ

それからは
人生をテニスに
捧げてきた

「テニスは俺を
認める」
「俺には
コレしかない」
そう思った

苦節10年
今 俺は
テニス1日目に
負けてる
ふっ

クソっ!!
こんな仕打ち
ありかよ…

…いやいや
落ち着け
オレ
こんな時
「主役」だったら
ネガティブにならない

どんなことにも
理由はある
どんな才能にも
綻びはある…

彼も人間だ
完璧はない
焦らず
粗を探せ…
ザッ

やはり
まだまだ初心者だ
ニヤリ
「甘い握り」に「片手」のバックハンド

よし!
コレなら行ける!!

バックで返されたふらついたボールを
ザッ

ボレーで反対へ送る

ココだっ!!

!

やった！
入った！

よォし…見つけたぞ勝機！！
伊達に10年やってないぞ！俺！！

もう一度っ！！
ふ

ダッ
おお すげー
「速攻」で返したぞ
ザワ
ザワ
も…もう攻略した…？たった1回で？

何故だ…アレを拾う脚力があるのか？
何故 教わってもいないのに「速攻」を使える？
理由は？

確かに 昴のプレーは不自然で都合のいい成長を遂げた
それも短期間で

だが
この時 村岡は気付いていなかった

主役とはそういう生き物であると
主役に理由はいらないのだ

グッ…
バックハンドスライス？

パッシング!?
何故できる!?

その後も衆人環視の中で行われる蹂躙
それは村岡にとって人生を否定され続けるようなものだった

ザワ
おいおいあの新人なにモンだよ！
スゲー奴が出たぞ
あんな鋭いスマッシュ初めて見たぞ
ザワ
ザワ

……負ける
このままだと…負け
ピィ

そこまでだ

あっ！

宇垣先生！

お前…名前は？

き
霧護昴…
です

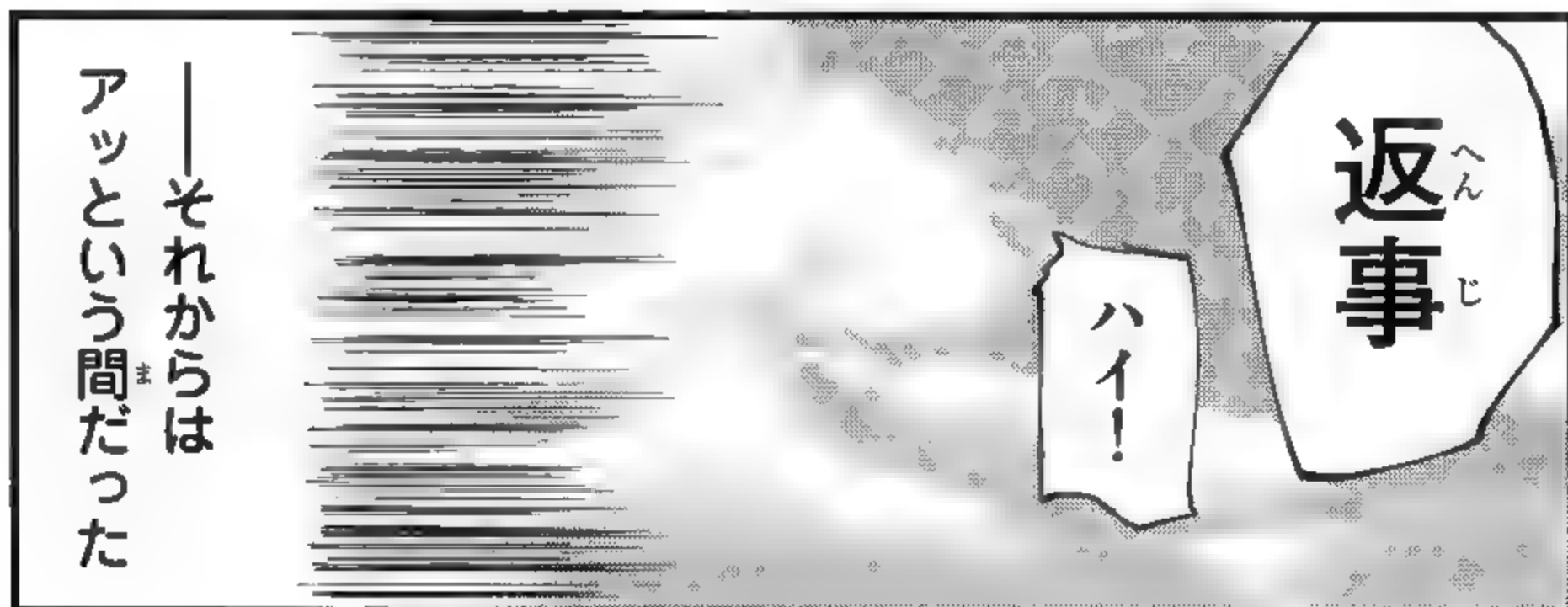
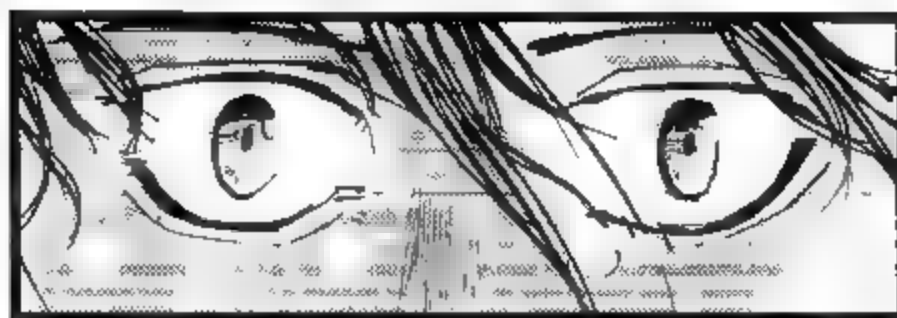
プレーを見てる限りド素人のソレだな
無茶な動きが多過ぎる
その程度でウチのと勝負とは…ナメられたもんだ

だから
俺が教える

す…
すみません…

え!? あの宇垣先生直々に!?
とんでもないことになってきたぞ
ヤベー!!

目標は1か月後 学内の練習試合で1位を取ること!

返事
ハイ!
──それからはアッという間だった

駆け回る噂
日々増える観衆

そしてそれは
いつしか仲間へ

部活の話題は
持ちきり!!
サワ
サワ
サワ

確実な才能と
健気な努力で

昴は
一瞬で物語の
中心となった

当然しわ寄せが起こる
ふッ
カッ

引き離される技術
クッ
カポッ

零れ落ちる人望
ボッ

繰り返される色の無い日常
カコン
カッ

ハァ
ハァ…

…次だ
次勝てば
全部ひっくり返る!!
グッ

やっとスタメンになれたんだ…
俺にはテニスしかないんだ

勝つしかない
勝つしかッ!!

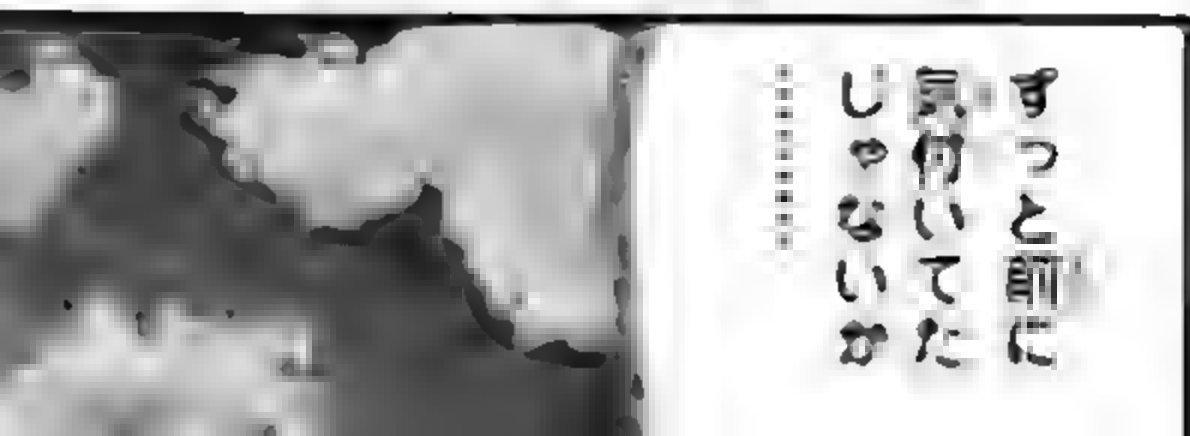
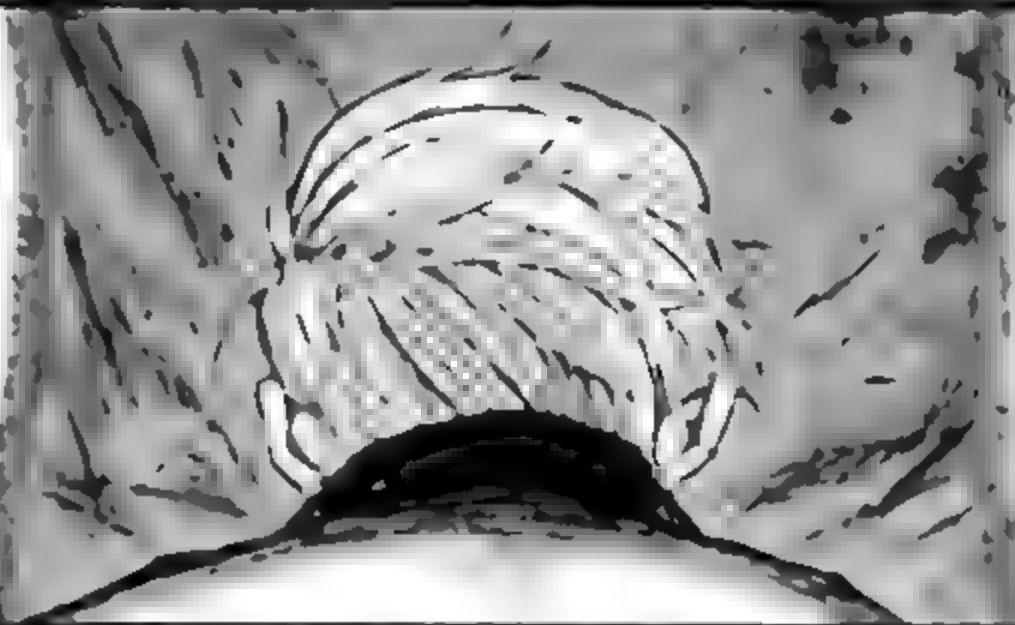
ドッ

ボッ

ポタ
ポタ

ツー

…何やってんだ俺
ずっと一人で…

本当にひっくり返るのか？
人気者になれるのか？
主役になれるのか？

この世には主役と脇役がいるんだ…
練習じゃ越えられない高さが…追いかけても埋まらない距離があるんだ…
俺が主役になるなんて…
最初から無理だったんだ………
帰ろう
──だよね
?

霧護くんと
葉月さん
……?

しっかしホント
変わったよねー
昴くん

僕が変われたのは
葉月さんのおかげ
だよ
葉月さんの
純粋な応援を聞いて
世界が真っ白に
塗り変わったんだ
!

そっ
そんなー
大げさ
なんだからー
デレ
デレ
大げさなんかじゃ
ないさ…
本当に世界が
変わったんだ

ずっと人の目ばかり
気にして
孤独ぶってた
でも そんなこと
忘れて 初めて
真剣になれた

僕には
テニスしか
ないんだ

テニスは僕を認めてくれる気がした

…一緒だ

オレも…そんな想いだったはずだろ…
それがいつしか人と比べて一人で敵視して…くだらないな

勝敗にこだわって
グッ
楽しむことを忘れてた!

テニスは俺だけのものじゃない…
コートの上では主役も脇役もない
グッ

――あいつと俺

一緒なんだ――

じゃ
ねえだろ

コレしかない!?
お前はあるじゃないか!!


選ばれた才能も!!
気のいい奴らも!!
真っ直ぐな人格も!!
主役の風格もッ!!


俺は持ってねえ!!
来る日も来る日も練習しかしてない!

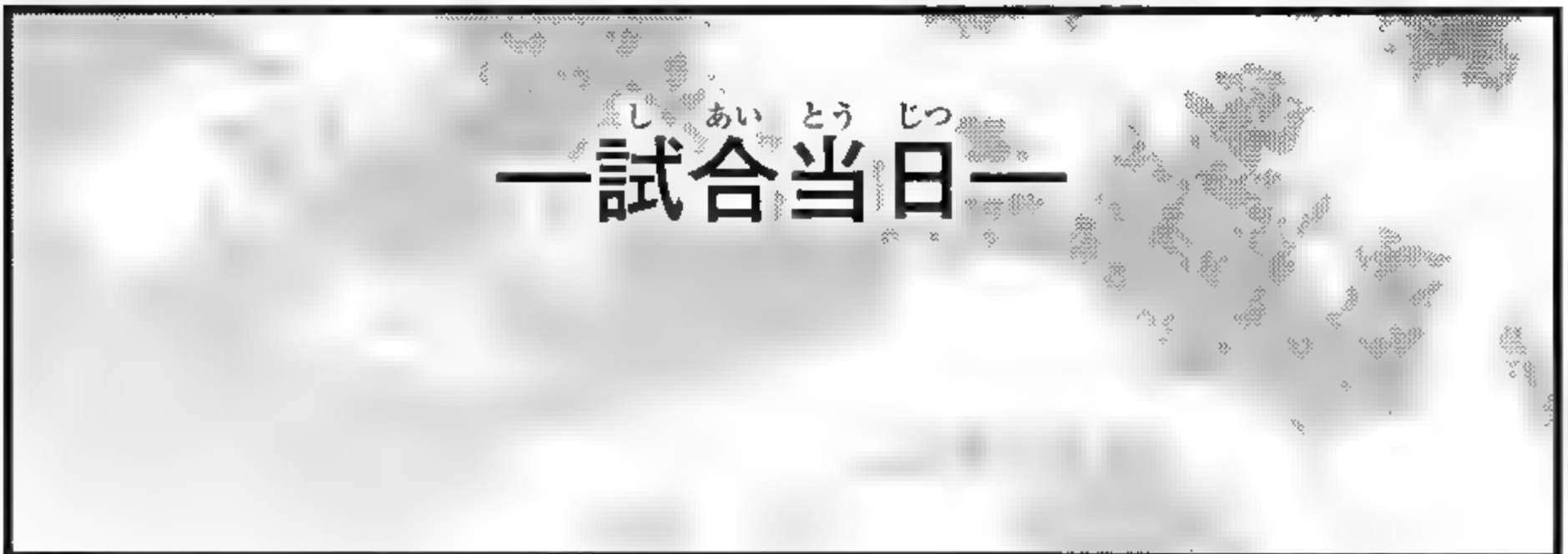
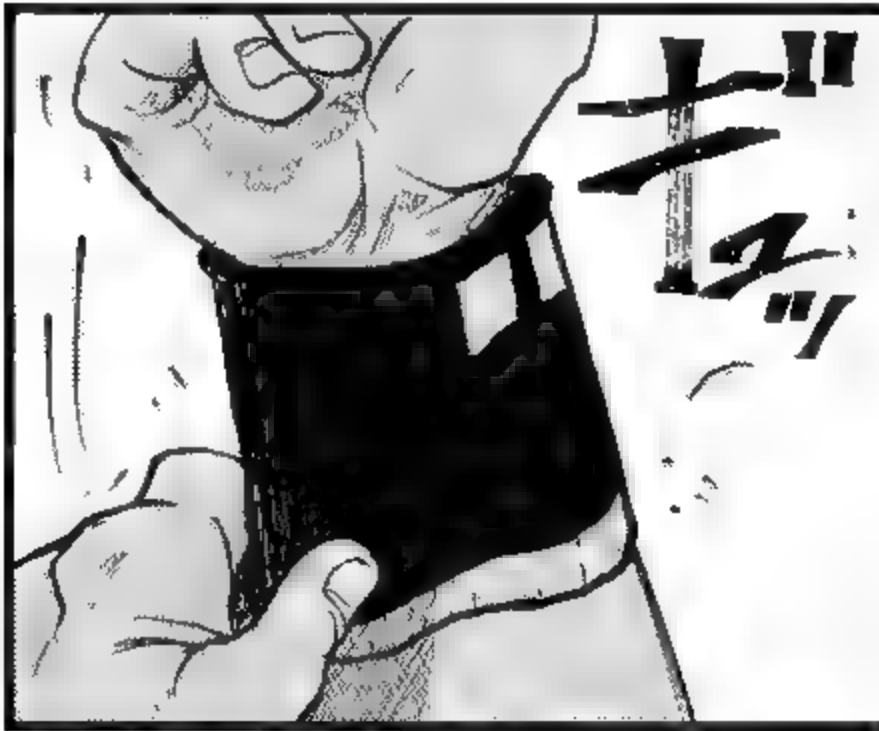
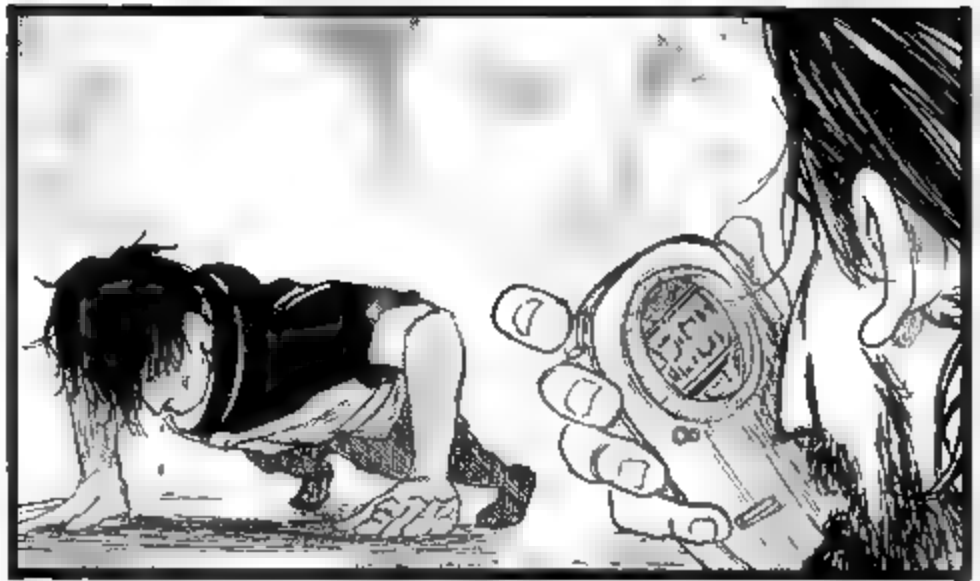
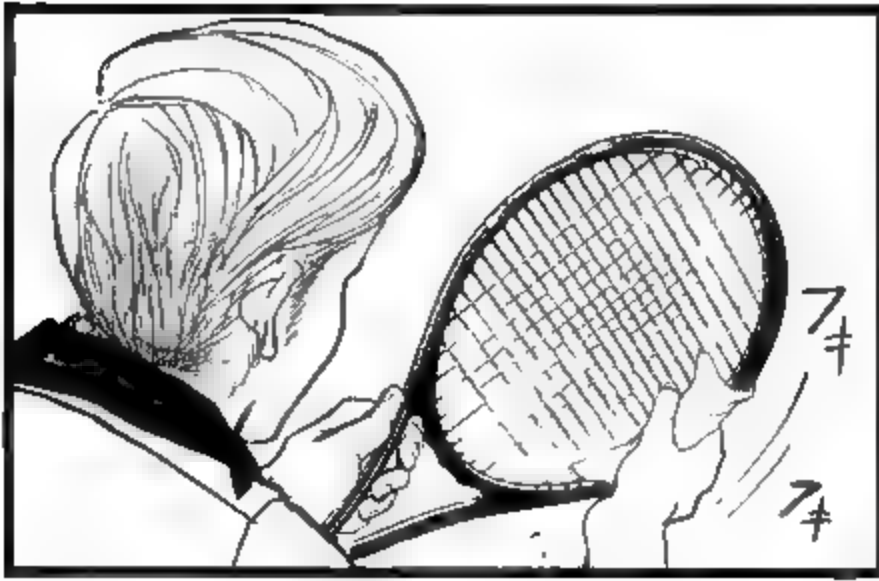
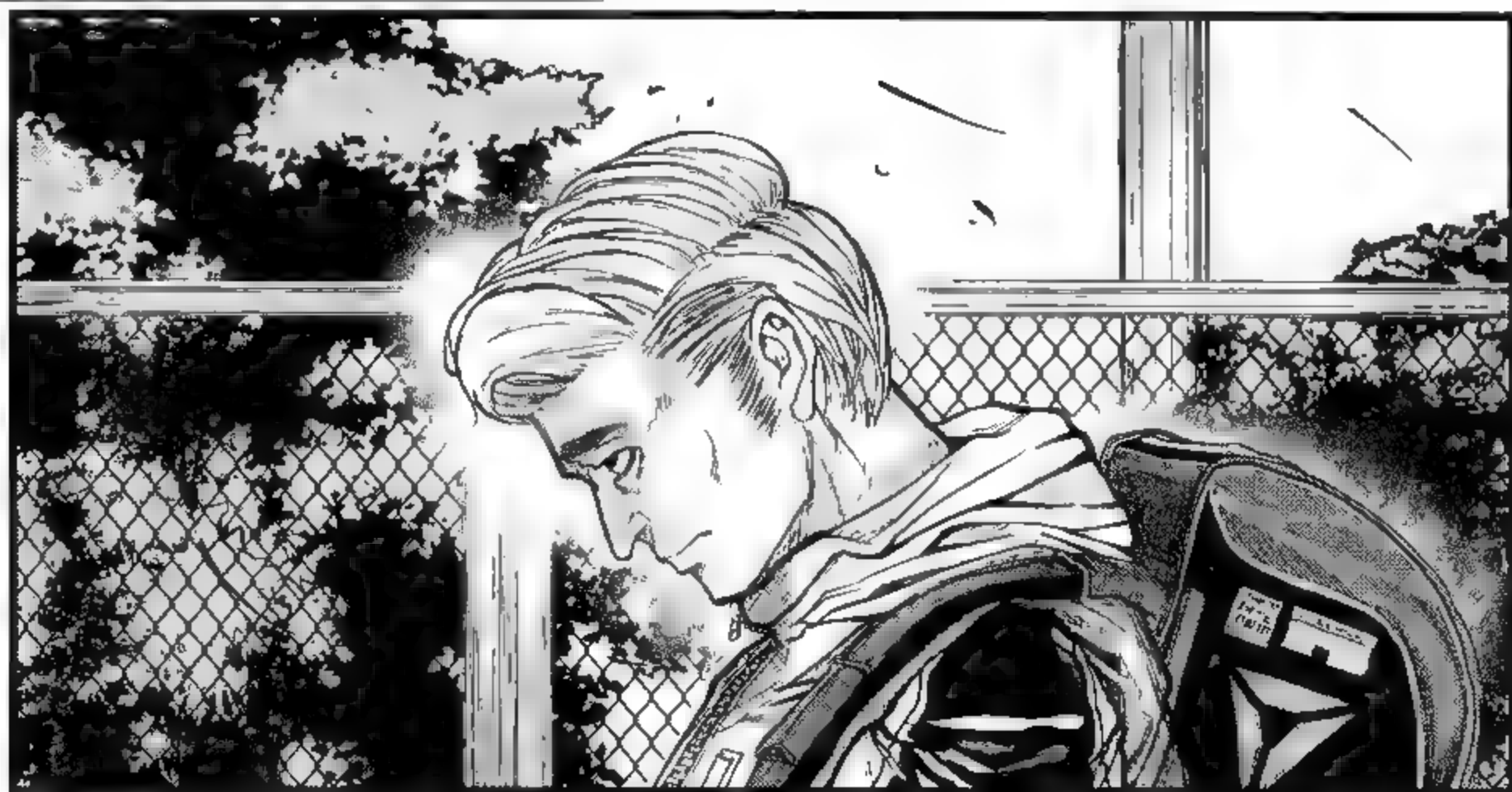

俺にはッ
ガッ

俺には

テニスしかないッ!!

―試合当日―

淋しい目をしてる

わかる気がするんだ
村岡くんの気持ち

心に鍵をかけているんだ
真っ黒な世界で光を恐れて

受け入れればきっと輝き出すのに

昔の僕と一緒だ…

白い世界はすぐそこに待ってるよ

変わりたくない

ふっ
頑固な人だ…

いよいよだな
ああ この一か月 昴くん そうとう成長したぞ

詰め込み過ぎて壊してなきゃいいが…
昴くんだぞ? 大丈夫だろう
ちょっと待って 私までキンチョーしてきた
なんでエミが
さァ昴 どんなプレイを?
昨日のアレ 感動したなー
マジであの技 本番で出せるか?
この空気だ…

脇役みたいな人種はいつだってこの空気にあてられる…
1セットマッチ!

除け者・傍役・掃き溜めの凡夫
何とでも呼べ!!

村岡 トゥサーブ!
だが

プレイ
誰にもッ

敗者とは
呼ばせないッ!!

ぐっ
ボッ
無色だ
もっと
無色になれ
今までの人生で
得てきた
ケチなモンと
ギャッ
これからの人生の
ちっぽけな可能性
全部まとめて
今燃えろッ!!

ゲーム村岡ッ!!
1G!!

俺の一生を懸けて
お前の一瞬を潰す!!

1G取られたぞ！
いや…6G先制のルールだまだ大丈夫！
ザワ
ザワ
昴くん…

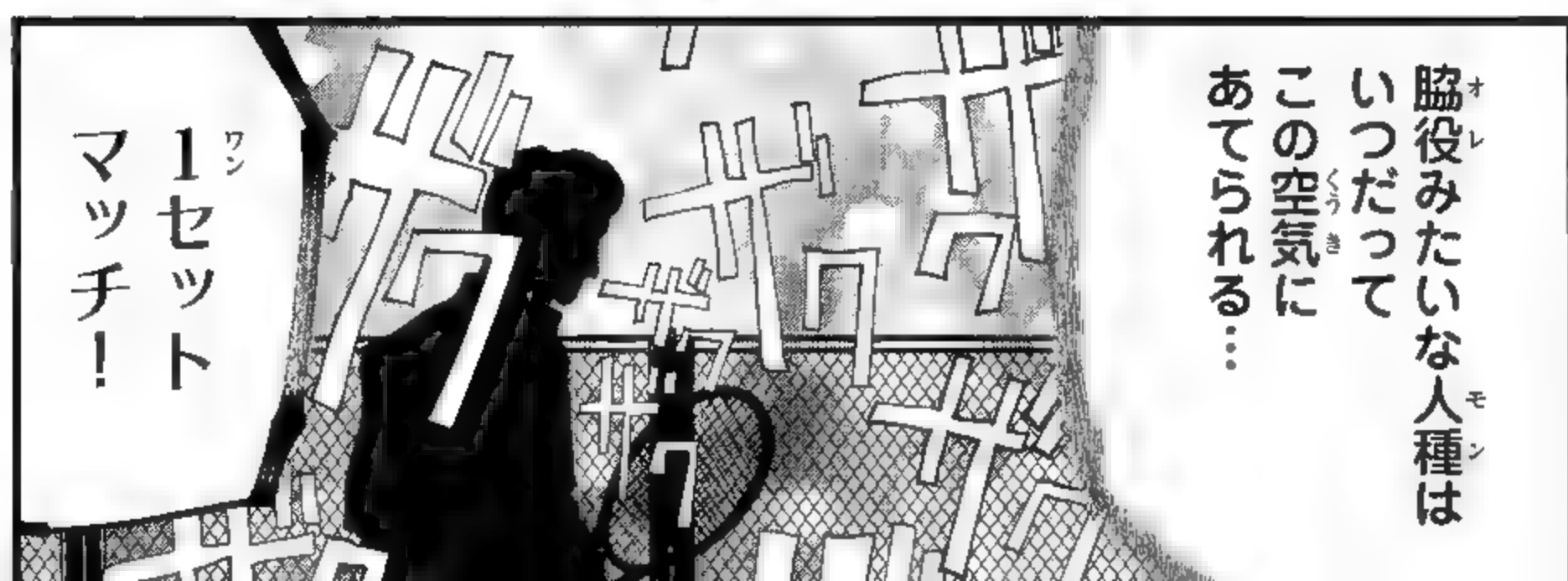
ゲーム 村岡ッ 2G！
グッ
ストカッ

………

ゲーム 村岡 3G
Player
Point
村岡
40
3
15
1

ゲーム 村岡 4G!!
ハァ
ハァ

…んばれ

ガンバレ

昴くん
私のこと 純粋で
真っ白な人間だって
言ったけど…
そんなことないもんッ
私だってホントは
嫌なこととか
黒い気持ちとか
いっぱいあった!
でも! 昴くんの
真っ直ぐな姿
見てると
私も
ガンバろうって
思える!
私も
白くなれる!!
だから!
私の為にもッ
絶対
ガンバレッ!!
応援の言葉で
私の為って…
やっぱり
変人だ…
…でも
フーッ
シャッ
グッ

ゴギャッ
なっ　なんだ!?
さっきまでと
ボールが
違うぞ!?
ゲーム
霧護!
3G!!
スバルくん
追いついて来たぞ!
あと1Gで
タイだ
いける!
いける!!
ハァッ…
クソ
どこに
こんな
底力が…
グっ
次第に
奪われていく体力
摩耗する集中力
削り取られる
自信
くっ

ハァ…
…劇的だな
ハァ…

応援で覚醒なんて
ドラマがあるかよ…

俺は
ただの練習しか
できない
ハッ

それを
ただ反省して
ただ反復して
ただ調整して

劇的なこと
なんて…
なかった

4G対4G
か…
調子…
良かったん
だけどな…

此処までか——

地球上
全人類が
彼を見放した

濁る選球眼
鈍る判断力

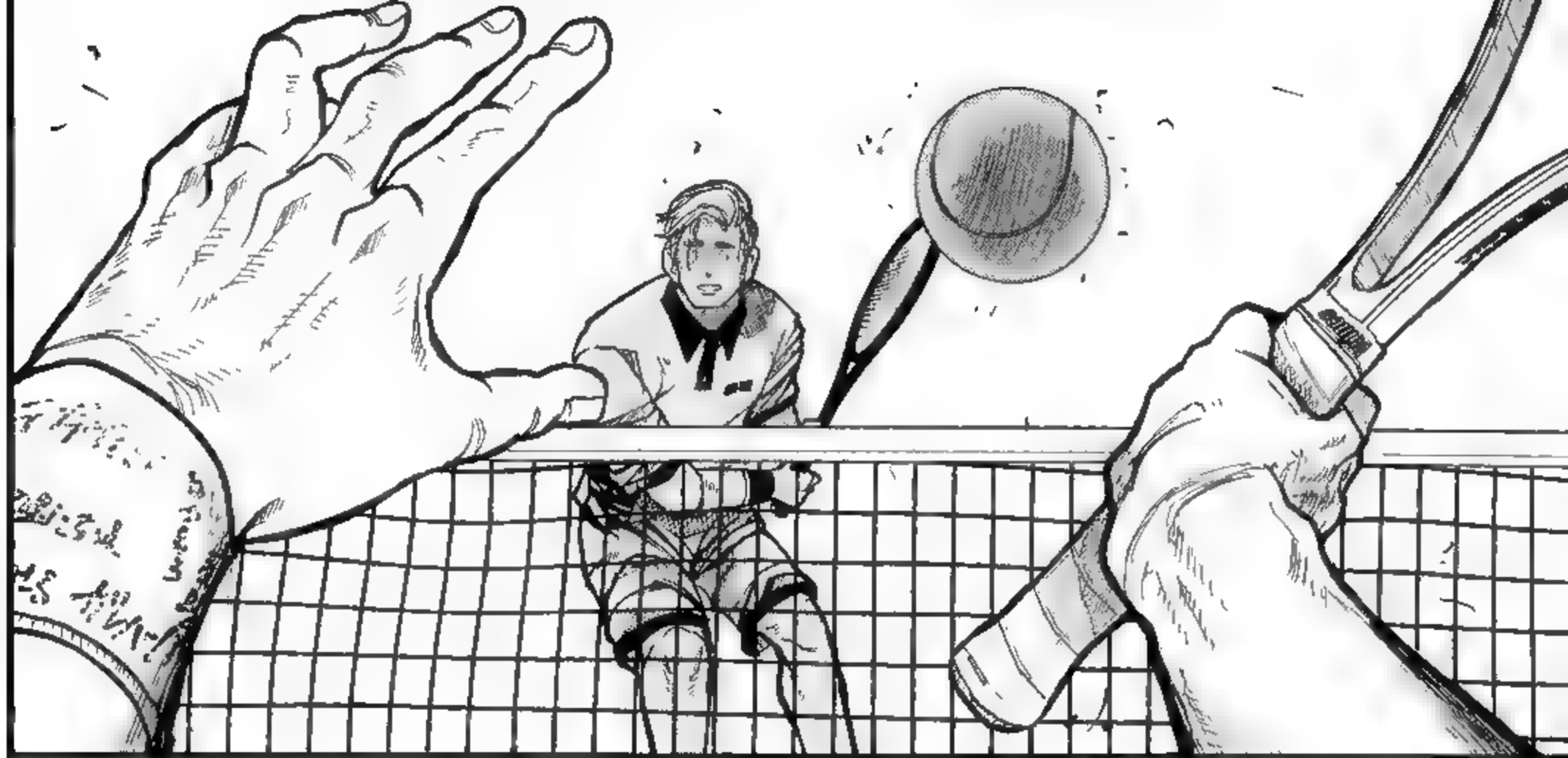
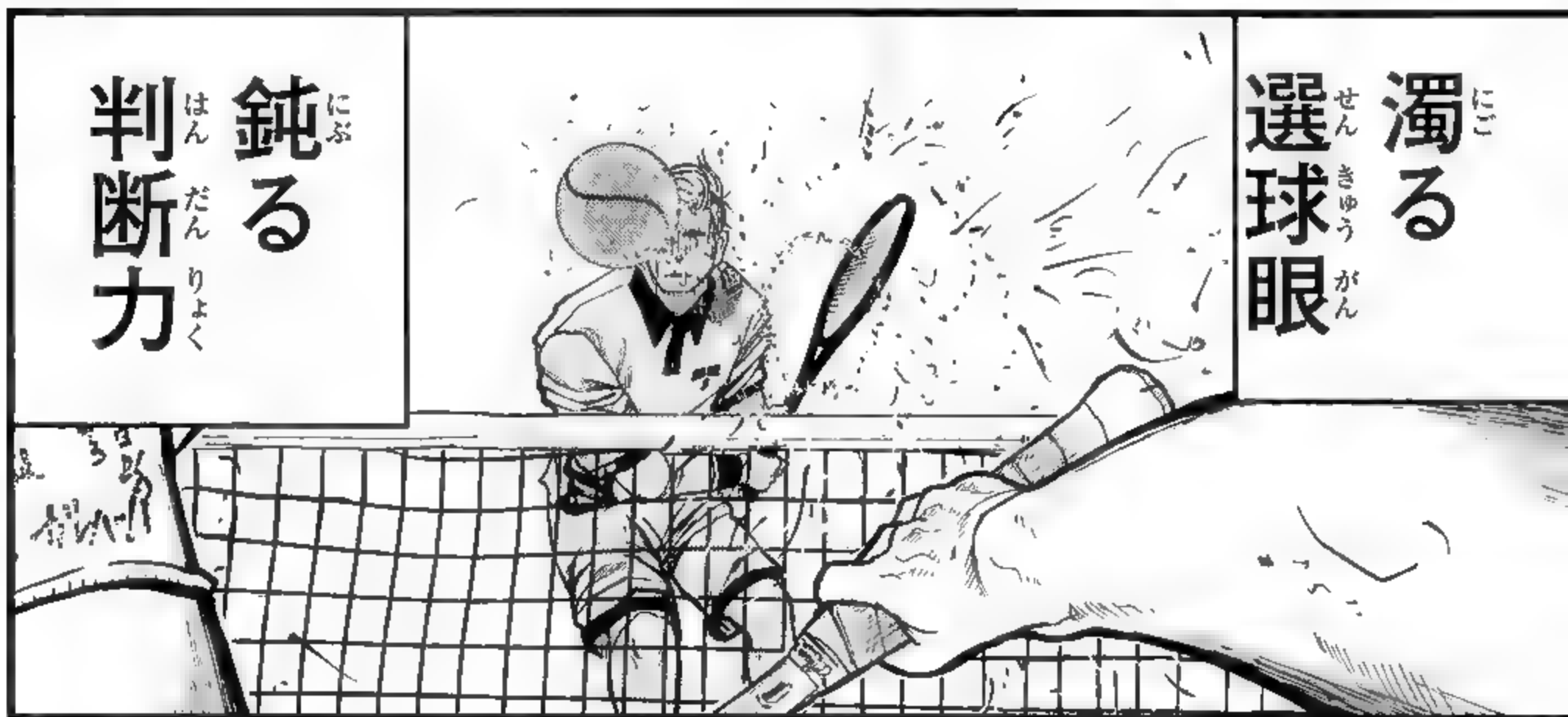
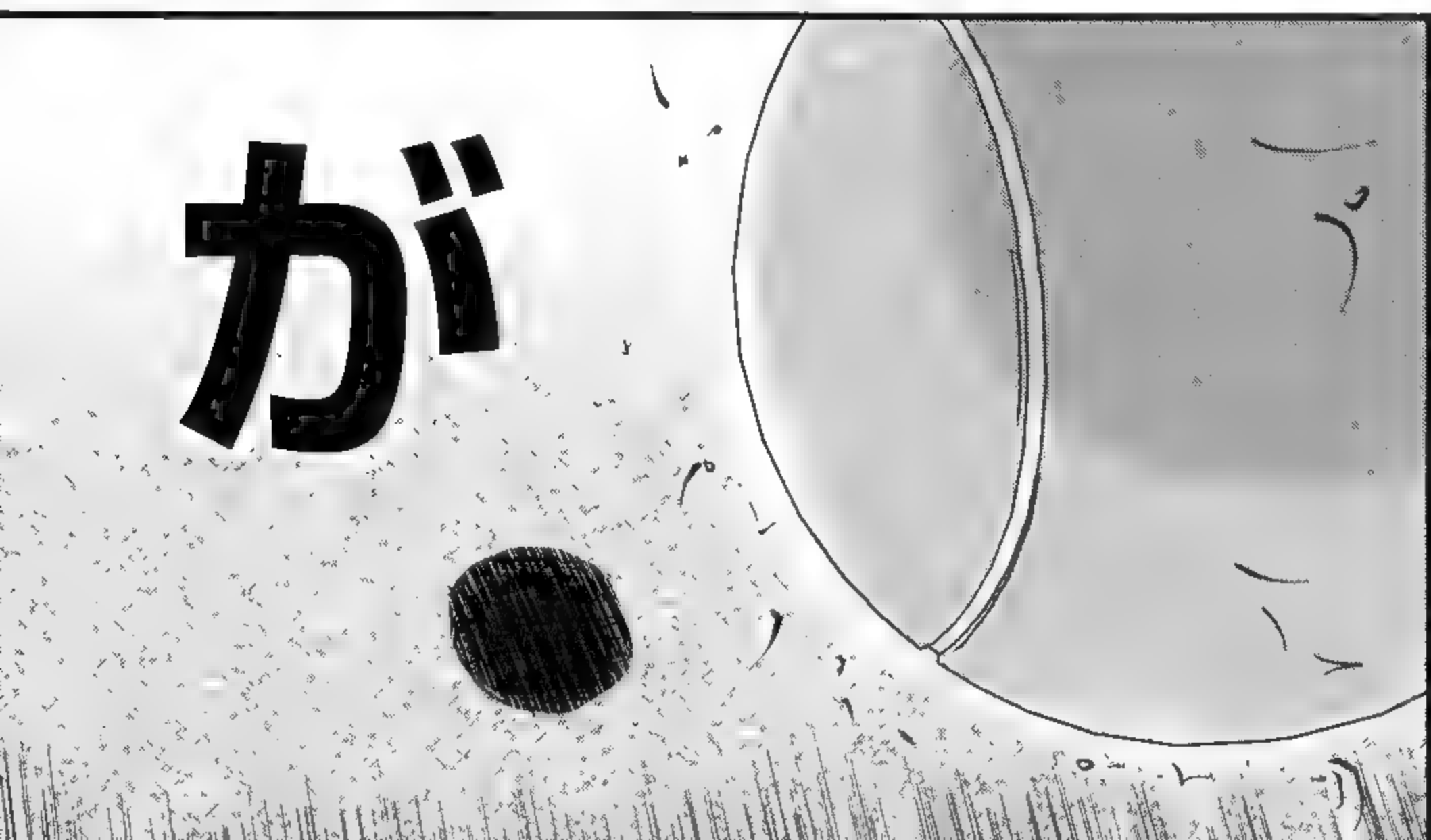
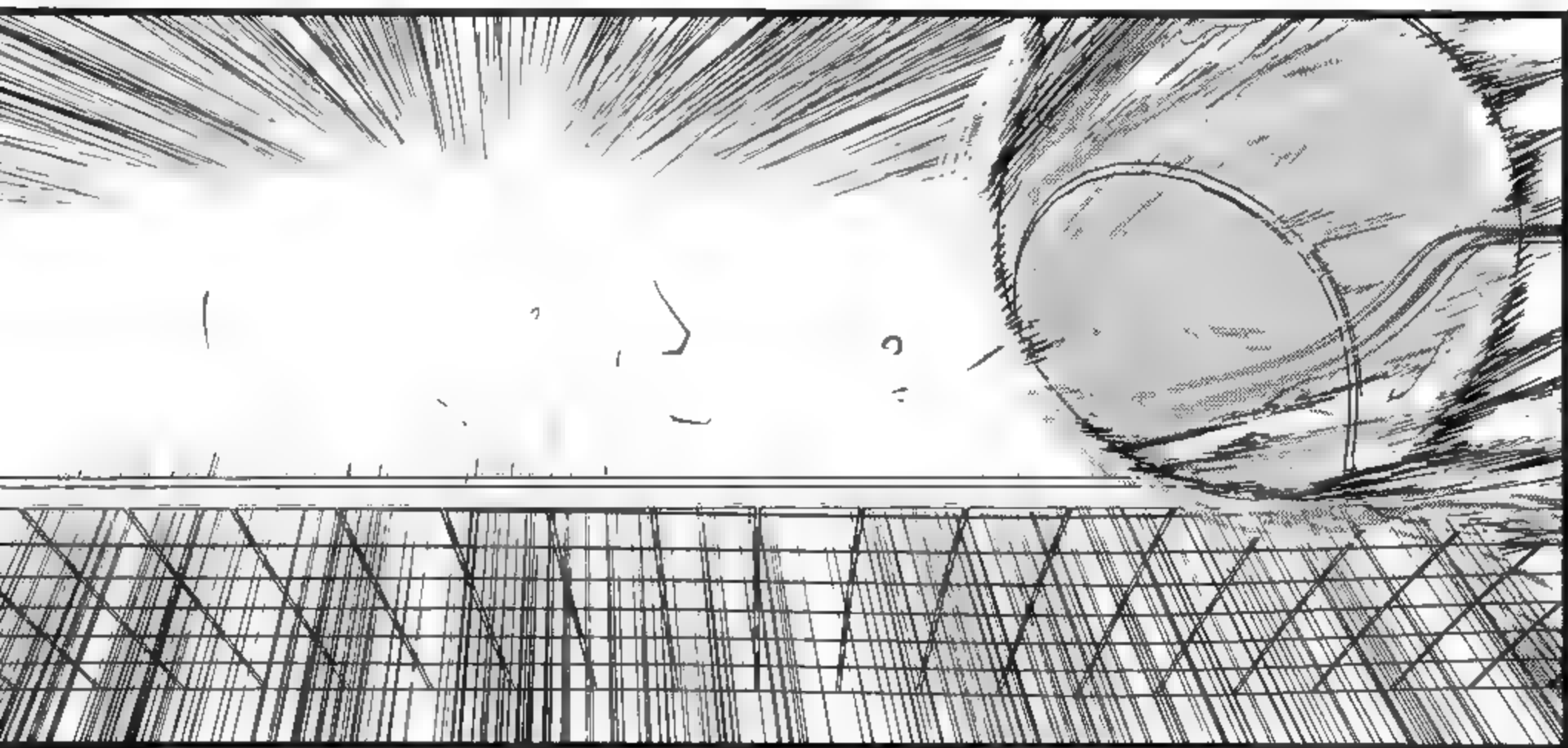
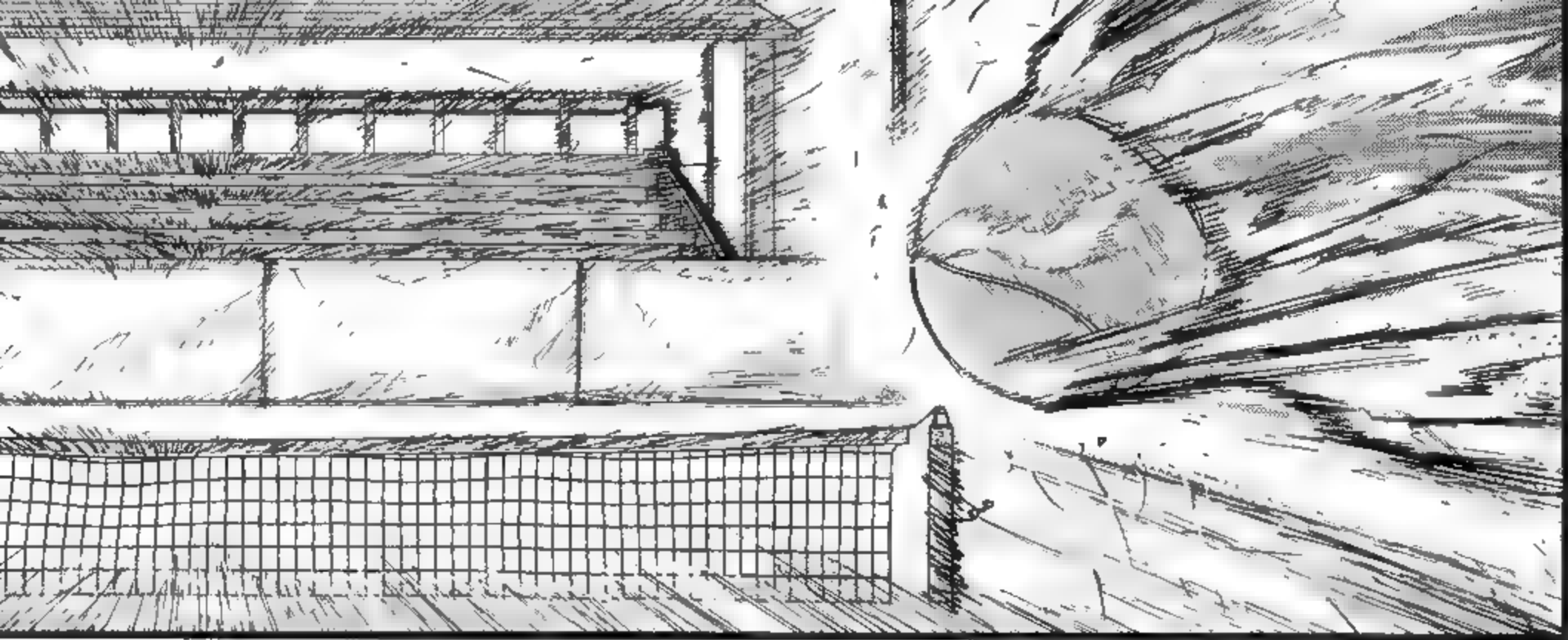
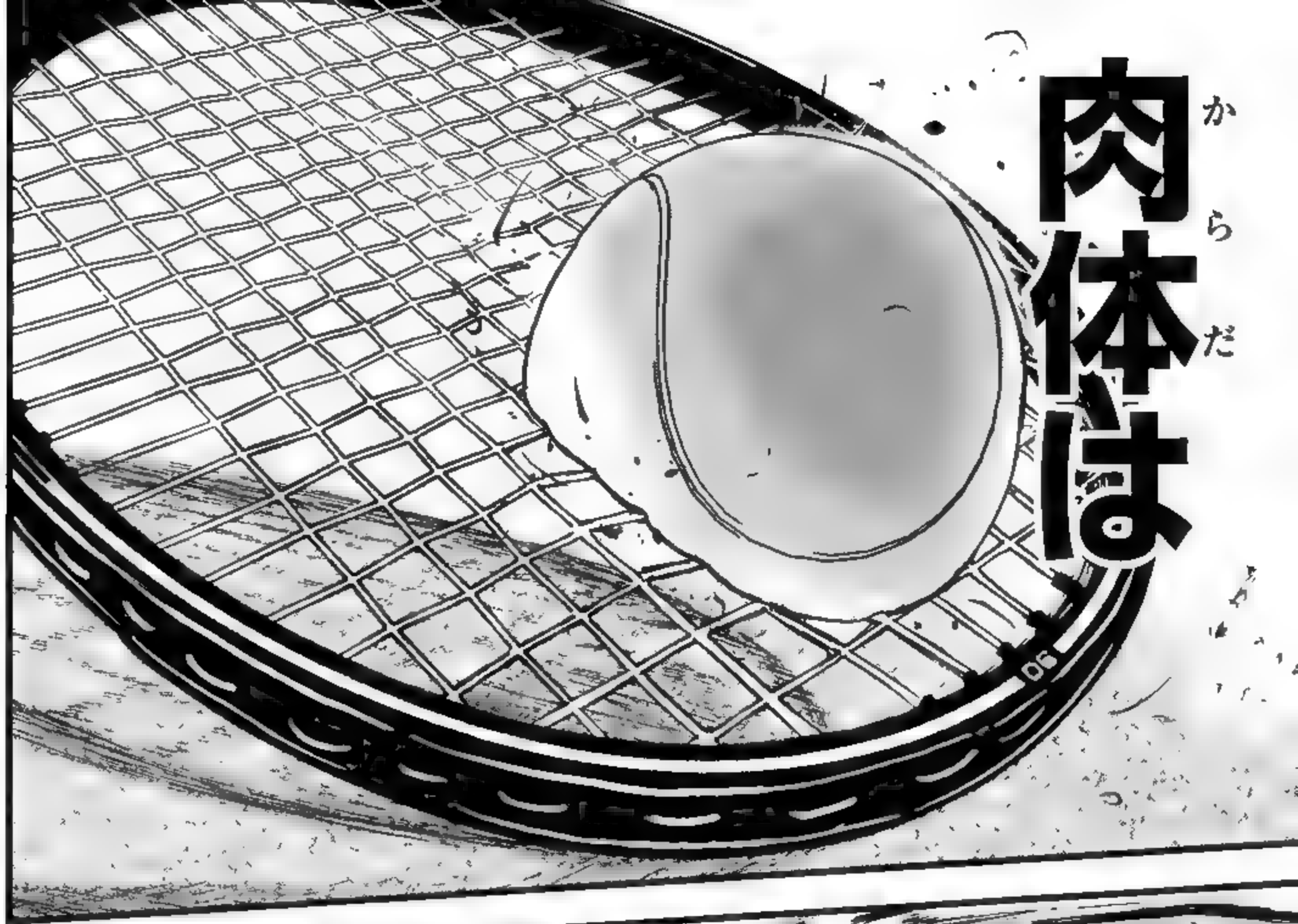
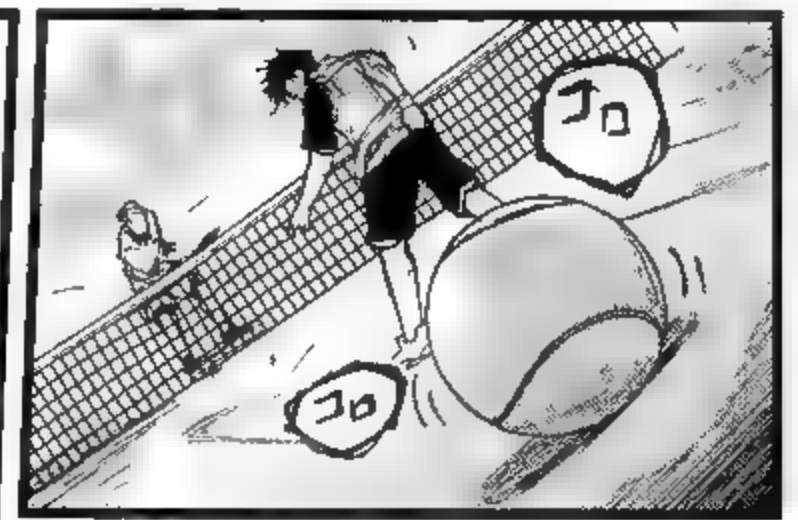
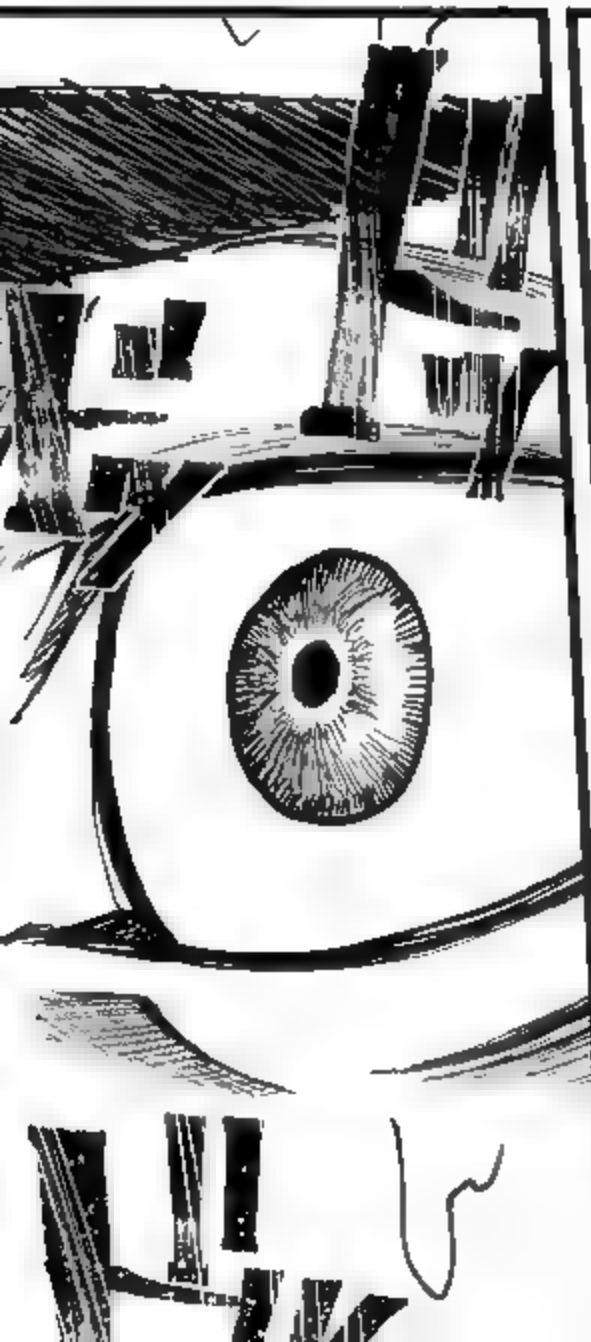
最早
頭脳は動かなかった

が

肉体(からだ)は

動(うご)いた

なっ

えっ

村岡を
動かしたモノ
それは 熱い
応援の力でも
美しい愛の力でも
選ばれた才能でも
安い運命の類でもない

彼を
突き動かしたモノ

それは

ただの練習

ただの
反省
ただの反復
ただの調整

肉体に
染み付いた

ただの

日常

テニスは
俺を

見放さないッ

サーブトゥ
霧護！

走れっ！
しがみつけッ
這うようにッ!!
一球も取り逃さない!!
ガットで
掴めッ

離れていった
俺の栄光 俺の希望

俺の勝利!!

一球だけ多く

拾え!!

勝者！

村岡

ハァッ

ハァッ

ゼーッ

ゼーッ

ただ一つの味方。こいつだけは、いつもそばに——。